



「4つの安全」改善事例発表会にて最優秀賞を獲得した
三重工場製造部製造二課のメンバー

現場力を高める三重工場の取り組み

5S活動を通じた “ものづくり文化の創造と伝承”

三重工場は、樹脂添加剤をはじめ最先端の化学製品を生産する中核工場として、ADEKAの海外拠点に向けた技術サポートなどを行っています。

事業のグローバル化が進む中で、「一定の手順で、安全に、品質バラつきことなく、安定して供給する」という製造業としての“基本”をきちんと守ること、“間違いのないものづくり”を通じてお客様の信頼を獲得していくことが大前提として求められています。

5S活動を継続して他には真似のできない“ものづくり文化”にまで昇華させていくには従業員のモチベーション向上が不可欠で、同時に、マネジメントサイドにもさらなる創意工夫が求められます。

5S活動

「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰」の5つの「S」をテーマとする業務改善の取り組み。「不要なモノを捨てる」「共同で使用するモノや情報を誰もが使いやすいようにする」「日々の清掃・点検を怠らない」「整理・整頓・清掃がなされた状態を保つ」「以上の4Sを維持し、職場内のルールや作業手順を遵守する」活動。



5S活動を通じた、お客様に喜ばれる“間違いのないものづくり”を目指して

三重工場では、2011年度からMCFS-5G活動を展開しています。MCFS(Mie Continuous Five S)-5G活動は、5S活動の徹底を図ることで5G(5つの現場づくり)を目指し、ADEKAが「4つの安全」として全社方針に掲げる「労働安全」「環境安全」「設備安全」「品質安全」を実現していく取り組みです。

三重工場では稼働開始後の早い時期から5S活動を継続しつつ、TPM活動やMPI-200(Mie Plant Innovation：生産性の200%向上を目指す)活動などを通じた改善に取り組んできました。

2008年度まで実施してきたMPI-200活動後には新たな活性化活動が実施されていないこと、さらには製造現場の“文化”の担い手であった団塊の世代の多くの従業員が姿を消しつつあったことから、三重工場では「生産工場としての企業価値を高めていくための基本」として、5S活動の“活発な復活”を通じた“ものづくり文化の創造と伝承”を目指した様々な取り組みをはじめています。



ADEKA三重工場

樹脂用の安定剤、添加剤、特殊可塑性などの製造拠点として、1965年から三重県桑名市郊外(員弁郡東員町)でアデカ・アーガス化学(株)三重工場が操業を開始。1990年の合併と2006年の社名変更を経て「ADEKA三重工場」に。自動車部品や住宅の建材などに用いられるハイエンドの各種樹脂添加剤および情報化学品材料などを供給する工場として重要な役割を果たしています。

各認証取得歴
ISO 9002(1993) / ISO 9001(2002) / OHSAS 18001(2001)
TPM受賞歴
TPM 優秀賞第Ⅱ類(1989) / TPM 優秀賞第Ⅰ類(1995)

5G(5つの現場づくり)

1. 事故・災害を発生させない現場づくり
2. 公害を出さない現場づくり
3. 異物・品質不良を発生させない現場づくり
4. 工程停止を発生させない現場づくり
5. 工場貢献利益を拡大できる現場づくり

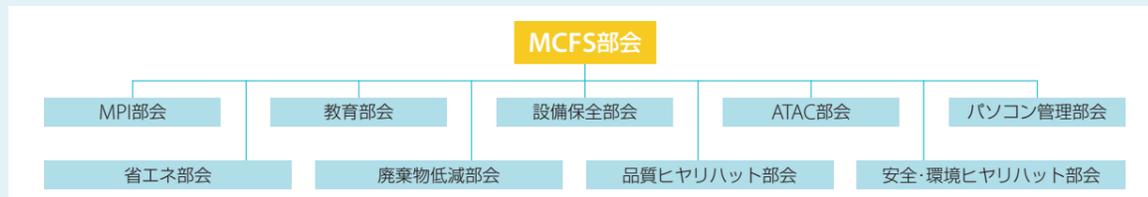
経験者の“暗黙知”を生かした“手づくりの改革”

「MCFS-5G活動」の特徴は、コンサルタントなど専門家の方々の手を借りず、長年、5Sをはじめとする三重工場の業務改善活動を自ら経験し、いわゆる“暗黙知”を培ってきた中堅・ベテラン従業員が中心となり、“手づくりの改革”を実施している点です。

5S活動のように作業現場における様々な“気づき”が求められる活動にはトップダウンとボトムアップ

との融合が不可欠ですが、“手づくりの改革”としたことで、「お客様をはじめ周囲から“さすがは三重工場”だと認められるような職場をこれから自分たちで創り上げていこう」「やるなら“一番”を目指そう」というポジティブな意識が若手も含めた従業員の中に芽生える効果も生まれています。

“手づくり”の「MCFS-5G活動」推進体制



「MCFS部会」は、9つの部会および分科会を統括しつつ「MCFS-5G活動」の“水先案内役”を務めます。毎月開催する合同会議では、各部会長・分科会長に加え、工場長・業務部長・製造部長も参加し、活動の進捗状況確認と課題の改善などについて討議しています。同時にメンバー全員による課間点検も行っており、組織を横断してコミュニケーションを円滑にすることで、他部署の取り組みなどに大いに刺激を受けつつ、自らの改善につなげています。



活動結果をまとめて「MCFSかわら版」を発行



各作業工程は各製造課における業務認定標準をクリアした「業務認定取得者」のみが担当

「信頼できる工場」として工場活性化活動を伝承

三重工場がこれまで進めてきた改善活動は、お客様からも高くご評価をいただいています。

2013年度は6件の工場品質監査を受審し、お客様に製造工程や充填工程などの現場を視察していただきました。なかでも、三重工場が5S活動やMCFS-5G活動で行ってきた安全な現場づくり、高品質なものづくりに対する取り組みにより、「生産工場として信頼できる」とお褒めの言葉もいただいています。

今後もお客様の満足度を向上していくためには、国内外のADEKAグループが一体となって、活動を推進していくことが重要です。三重工場では、海外グループ会社からの従業員研修も積極的に受け入れ、工程担当者とのコミュニケーションなどを通じて、5S活動やMCFS-5G活動の理解を促進し、当社グループ内でノウハウの共有と、工場活性化活動の伝承を進めています。



三重工場のノウハウを海外グループ会社と共有



「整理」「整頓」された工具類

「どうせやるなら“一番”を…」

オールADEKAの「改善事例発表会」にて製造各課が受賞

社会により大きな価値をもたらすことにつながる製品を提供し、お客様の信頼を得て熾烈な競争を勝ち抜いていくには、現場の“ちょっとした提案”でも漏らさずに掲げあげていくことが現場のマネジメントに求められます。

ADEKAでは海外を含む全事業所を対象に毎年開催する「改善事例発表会(7月)」や「4つの安全」改善事例発表会(12月)」などを通じて、安全への積極的な取り組みを行っています。2013年度は三重工場の製造四課が「改善事例発表会」において優秀賞を、製造二課が「4つの安全」改善事例発表会」において最優秀賞

を獲得。MCFS-5G活動をはじめとする三重工場の業務活性化活動の着実な進展が形に表れています。



「清潔」に保たれたモデルエリア

第10回「4つの安全」改善事例発表会 最優秀賞事例について

製造部製造二課では「Reborn二課」をスローガンに、全員で、今までになかった新しい発想による幅広い改善に挑戦しています。

自主保全による安全・品質の改善“Know-Why”を取り入れた新しい教育や、危険有害物質の漏えい対処訓練の様様をDVDにして教育活動に活用するなど、保安力の向上を意識した改善に取り組んだ結果、「4つの安全」におけるトラブルもなく無災害を継続しています。

5S活動の「清掃」部分に関する活動では、モデルエリア内の老朽化が進んで残渣回収がしにくくなって

することにより、三重工場主催の「5Sコンクール」で2連覇を達成。この活動成果は、工場見学や監査で来場されたお客様から高い評価をいただきました。

また、労働安全の面では、様々な管理基準を確実に遵守する対策を講じています。一例としては、有害物質であるパラホルムアルデヒドの仕込み作業工程で全員参加の対策を行い、労働安全衛生法の管理濃度を超えないよう粉立ちを抑え、仕込みスピードを安定させることに成功しました。

製造二課や四課の受賞には他の部署も大いに刺激を受け、“次はわが部署も”と、創意工夫を凝らした独自の施策を構築し、取り組んでいます。



授賞式の様子



三重工場 MCFS部会長 山北 容弘
(製造部 製造三課長)